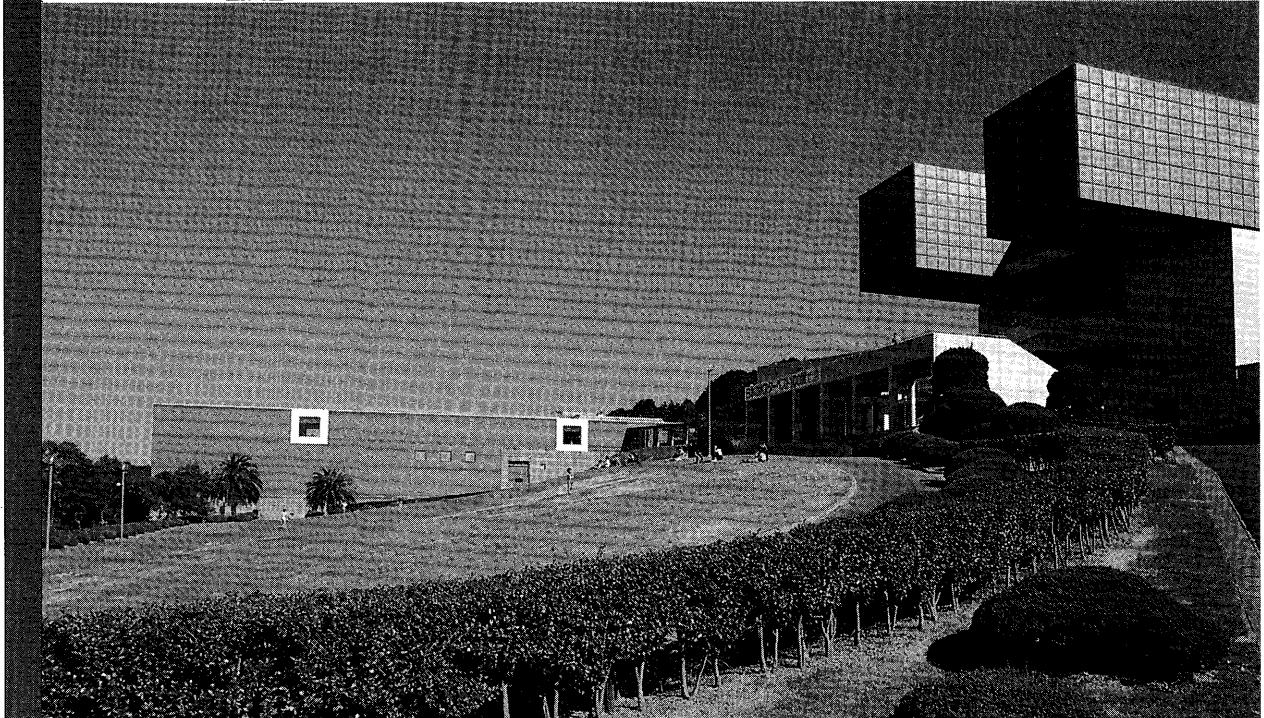


北九州市立美術館

所在地：福岡県北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21-1

設 置：北九州市

運 営：北九州市教育委員会



■館の概要

北九州市を一望するの高見丘陵に1974年開館。地域に関する美術品だけでなく幅広い分野の美術品を収集している。また、市民生活に密着した生きた美術館を目標にしており、絵画、版画などの実技講座や美術ボランティアによる美術案内など、市民の教養の場・文化活動の中心となる場となるよう運営している。収蔵品は油彩、版画、デッサン、中国美術、浮世絵など約6,000点。年に数回の企画展を実施するほか、ミュージアム・コンサート、土曜講座などを開催。約1,500人の友の会会員を有し、ニュースレターとして「美術の森」を発行している。

■情報システムの概要

1. 収蔵品管理システム

各地の美術館で比較的良好に使われている既存のシステムをカスタマイズし、1992年に構築したシステム。市販のパソコンとリレーショナルデータベースソフトからなる。システム構築までに館で作成してきた収蔵品調書を土台に画面構成やデータ内容を発想したため、一つの画面内に一つの収蔵品のデータをすべて表示するようになっている。そのために「画面が煩雑になってしまっている」（館職員）。また、導入した直後にパソコンの性能が大きく変わりシステムが陳腐化してしまった。OS（オペレーティングシステム）が古いこともあり、データ処理時間がかかる。紙の調書をくった方が早い、とのこと。

収蔵品のデータには画像を添付する機能があるが、処理速度が遅く、また画像原稿不足

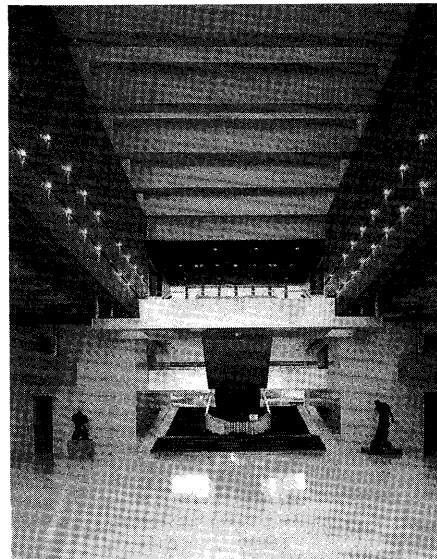
のため主要作品以外データ入力していない。「システムを開発したところは収蔵品調書を電子化することについては一定の技術力をもっているようであるが、画像処理については改良の余地がある」(館職員)。

そろそろシステムの更新時期にきているが厳しい市の財政状況を反映して更新の見込みは立っていない。

2. インターネットへの取り組み

市がサーバーを設置しホームページを提供している。市の職員にやらなければならないという意識はあるようだが、「実際は業者にまかせきりで取り組みが中途半端とのこと」(館職員)。館に関する情報については市内のボランティアが作成している。コレクション情報、展覧会情報、館の案内情報などが中心。画像をふんだんに使用しているため、少し重いのが難点。4月から公式に公開し、徐々に充実したホームページを目指したいという。

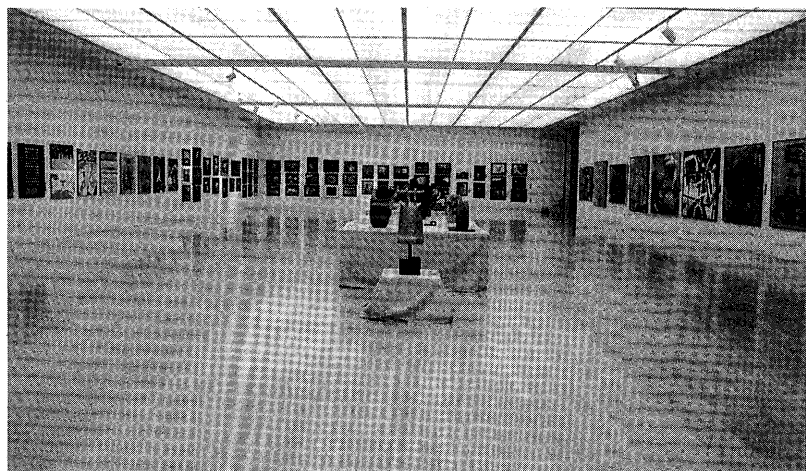
また、著作権について館の担当者は、インターネットなどで作品を公開することについては著作権の問題がある。図録やチラシなどについては、現存作家の多くが広く知ってもらうということを望むため、特にクリアしなくても問題が余り発生しないが、物故者の場合、遺族との間で問題になる可能性がある。こうした点についてどのように考えていくかは今後の議論が必要であろう、と述べている。



■エントランスホール

3. そのほかのシステム

館には来館者が利用できる図書館がないため、パソコンで内部の図書を管理している。また、市の財務処理システムの専用端末が設置されている。



■企画展示室